

平成29年度

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙1枚, 問題用紙2枚, 解答用紙2枚があるかどうかを確認のこと。
2. 問題1, 2に全て解答すること。
3. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
4. 解答が解答用紙の表面に書ききれない場合は裏面につづけて記入すること。
5. 試験終了後は, 解答用紙のみを回収するので, 解答用紙以外は持ち帰ること。

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

問題用紙全2枚（その1）

問題 1

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問 1

筆者は「子どもが大人になること」をどのようなことだと捉えているか、まとめなさい。

問 2

あなたが教師になった際、児童生徒にどのように育てて欲しいと思いますか。①「自立」または「自律」、②「関わり合う力」、③「遊び」の3つの語を用い、自身の考えを述べなさい。

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

問題用紙全2枚（その2）

問題2

下記の資料は、平成28年3月31日に公表された『高大接続システム改革会議「最終報告」』の冒頭の一部です。

下記の4つの「検討の背景と狙い」を受け、あなたが教師として学校に勤務した場合、児童生徒にどのような力をつけさせたいか、またそのためにはどのような教育を行いたいかを、冒頭に小学校・中学校の別を記した上で、具体的に述べなさい。

I 検討の背景と狙い

- これからの時代に我が国で学ぶ子供たちは、明治以来の近代教育が支えてきた社会とは質的に異なる社会で生活をし、仕事をしていくことになる。国際的にはグローバル化・多極化の進展、新興国・地域の勃興、産業構造や就業構造の転換、国内では生産年齢人口の急減、労働生産性の低迷、地方創生への対応等、新たな時代に向けて国内外に大きな社会変動が起こっているためである。
- このような大きな社会変動の中では、これからの我が国や世界でどのような産業構造が形成され、どのような社会が実現されていくか、誰も予見できない。確実に言えるのは、先行きの不透明な時代であるからこそ、多様な人々と協力しながら主体性を持って人生を切り開いていく力が重要になるということである。また、知識の量だけでなく、混とんとした状況の中に問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質や能力が重要になるということである。
- こうした資質や能力は、先進諸国に追いつくという明確な目標の下で、知識・技能を受動的に習得する能力が重視されたこれまでの時代の教育では、十分に育成することはできない。次代を担う若い世代はもちろん、社会人を含め、これからの時代を生きる全ての人が、こうした資質・能力を育むことができるよう、抜本的な教育改革を進める必要がある。
- 我が国と世界が大きな転換期を迎えた現在、この教育改革は、幕末から明治にかけての教育の変革に匹敵する大きな改革であり、それが成就できるかどうか我が国の命運を左右すると言っても過言ではない。

（高大接続システム改革会議『最終報告 [平成28年3月31日]』より）